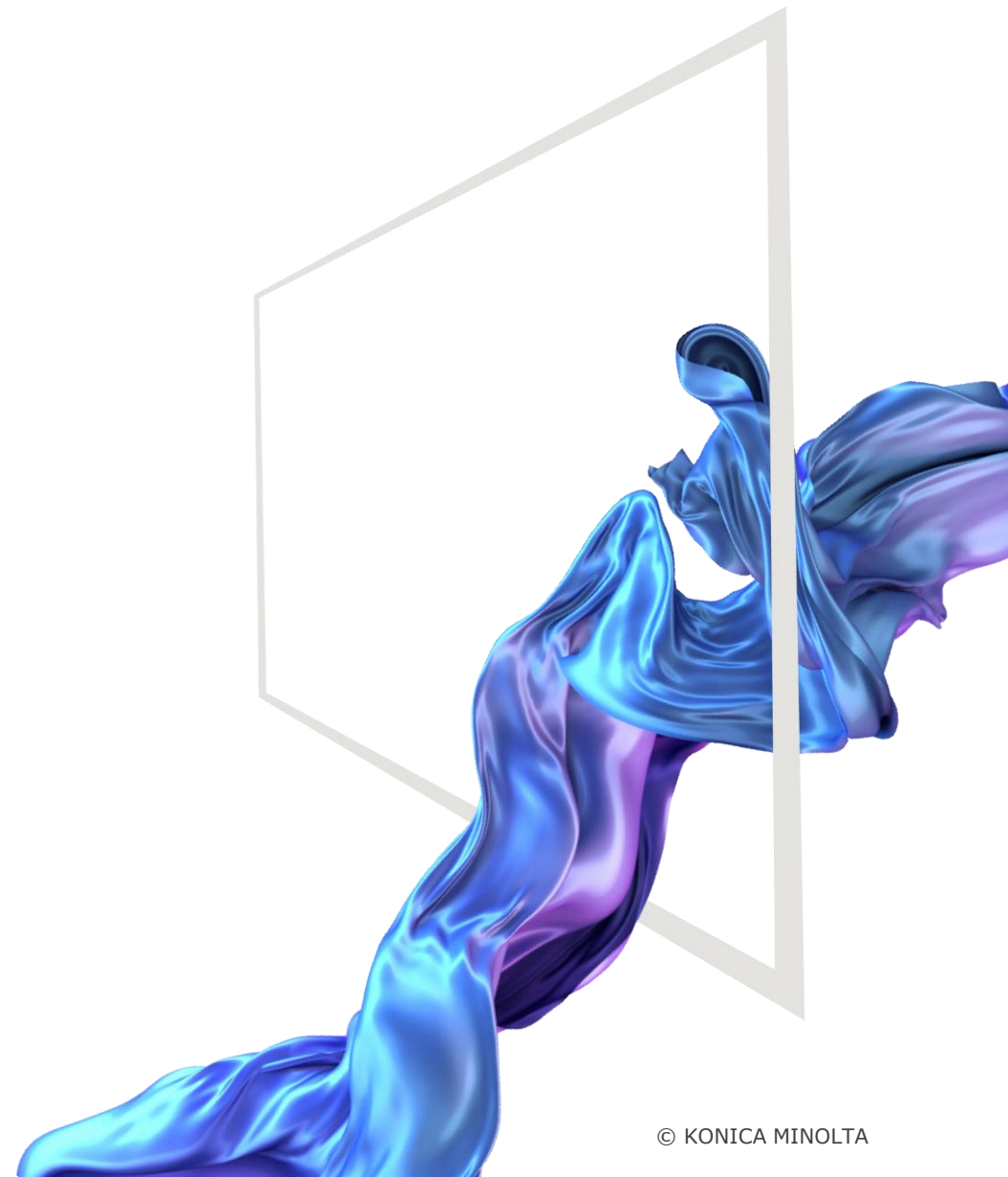


# コニカミノルタ株式会社 2024年3月期（2023年度） 第1四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2023年8月1日



## FY23 1Q実績

- 対前年同期：
  - オフィス、プロダクションプリントは増収増益、センシングは減収減益、  
全社では増収増益により、赤字縮小
- 対計画：
  - 全社としては想定をやや上回る

## 中期経営計画の進捗

- 事業の選択と集中：
  - 非重点事業：IPO準備に加えて第三者資本の活用具体策の検討開始
  - 方向転換事業：各事業毎の採算性見極め、方針の打ち出し
- 財務基盤の強化：
  - 運転資本圧縮により営業CFは黒字化（対前年+179億円）

# 2023年度 1Q業績



## 売上高

- 対前年同期で増収
- 増収：デジタルワークプレイス、プロフェッショナルプリント、ヘルスケア
- 減収：インダストリー

## 利益・キャッシュフロー

- 事業貢献利益\*・営業利益：売上総利益の増加、販売管理費の抑制による赤字縮小
- FCF：営業CFの良化による改善

	FY23 1Q	対前年		
		FY22 1Q	前期比	為替影響除く
売上高	2,664	2,478	+7%	+3%
売上総利益	1,119	1,048	+7%	+2%
(売上総利益率)	42.0%	42.3%	△ 0.3pt	
販売管理費	1,160	1,107	+5%	+1%
事業貢献利益*	△ 41	△ 59	-	-
営業利益	△ 44	△ 110	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 56	△ 87	-	-
FCF	△ 108	△ 249	-	-
為替レート (円)				
USドル	137.37	129.57	+7.80	
ユーロ	149.47	138.12	+11.35	

\* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

# 2023年度 1Q業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

【億円】

売上高	FY23 1Q	対前年		
		FY22 1Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,289	+ 11%	+ 5%
プロフェッショナルプリント事業	602	551	+ 9%	+ 5%
ヘルスケア事業	293	287	+ 2%	△ 1%
インダストリー事業 *1	332	349	△ 5%	△ 8%
コーポレート他	4	3	+ 34%	+ 34%
全社合計	2,664	2,478	+ 7%	+ 3%

事業貢献利益	FY23 1Q	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 1Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	24	2%	△ 2	-	-
プロフェッショナルプリント事業	8	1%	2	+ 304%	+ 41%
ヘルスケア事業	△ 32	-	△ 57	-	-
インダストリー事業 *1	26	8%	70	△ 63%	△ 67%
コーポレート他	△ 66	-	△ 72	-	-
全社合計	△ 41	-	△ 59	-	-

営業利益	FY23 1Q	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 1Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	20	1%	△ 43	-	-
プロフェッショナルプリント事業	9	2%	△ 1	-	-
ヘルスケア事業	△ 34	-	△ 63	-	-
インダストリー事業 *1	27	8%	70	△ 62%	△ 66%
コーポレート他	△ 66	-	△ 73	-	-
全社合計	△ 44	-	△ 110	-	-

\* 1 FORXAIの売上高・事業貢献利益・営業利益は、FY22はインダストリー事業、FY23はコーポレート他に含む。本資料ではFY22もコーポレート他に組み替えて表記。

\* 2 本社費等配賦調整：全社に関わる一部費用を、2022年度まで事業セグメントに配賦をしていたが、2023年度から見直しを実施。

表中の値は、参考として2022年度実績の費用配賦を2023年度の基準に調整した後の値。  
デジタルワークプレイス事業とプロフェッショナルプリント事業の共通費配賦調整を含む。

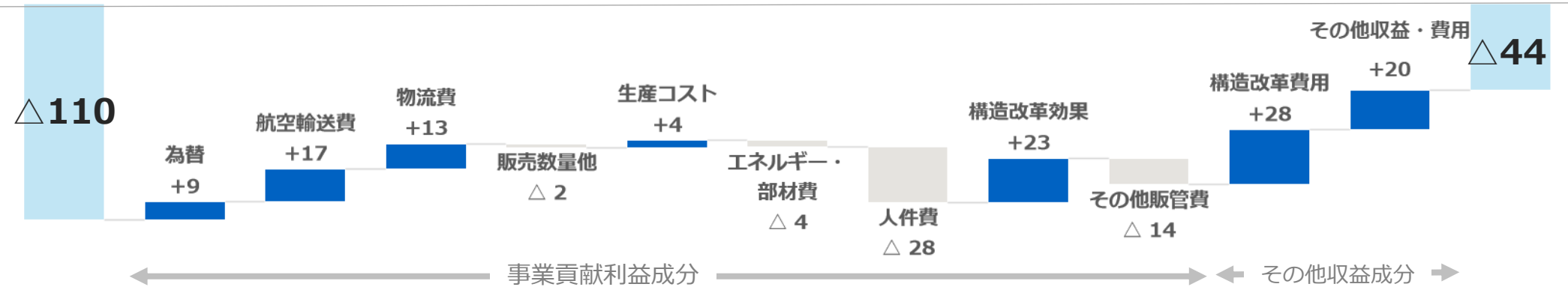


# 2023年度 1Q業績 | 営業利益の増減要因 (1Q)

【億円】

FY22  
1Q実績

FY23  
1Q実績

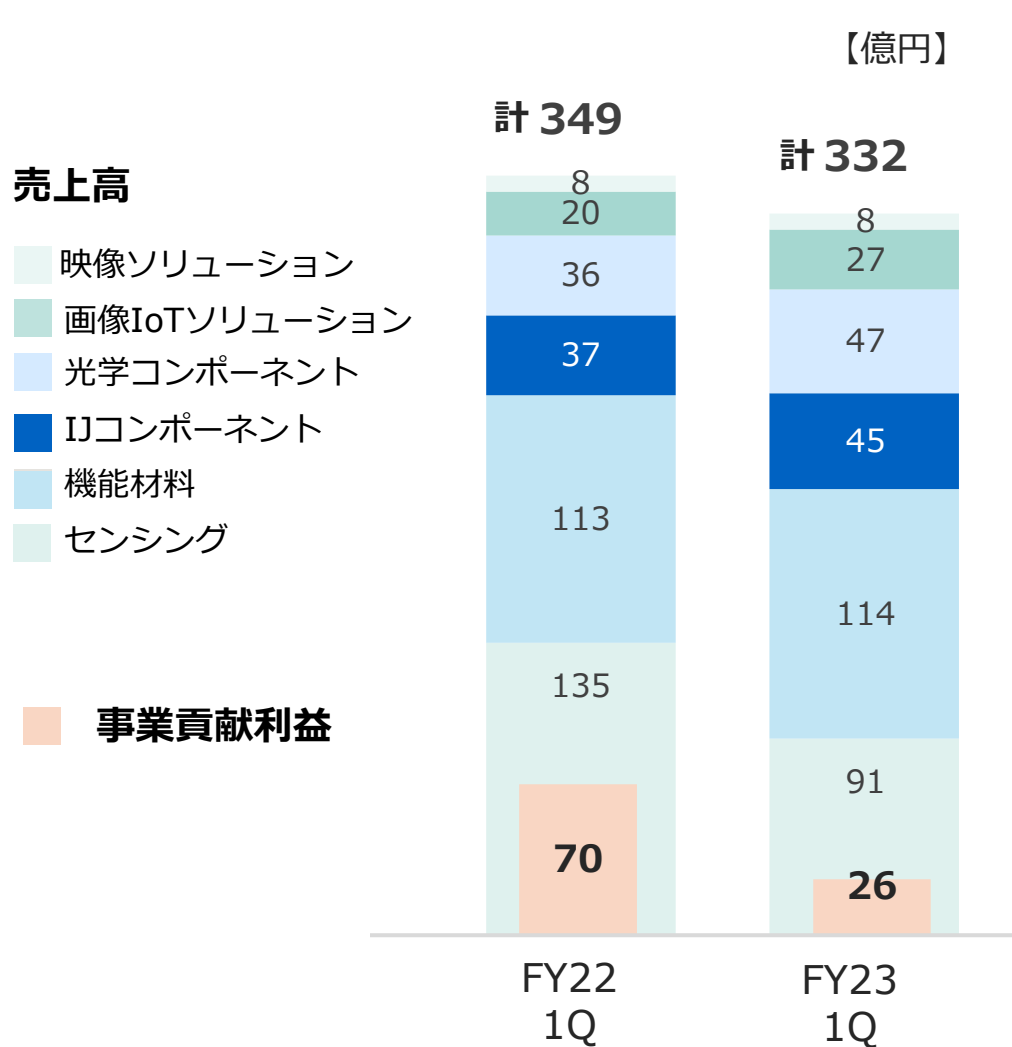


事業貢献利益成分

その他収益成分

	FY22 1Q 実績	為替	航空輸送費	物流費	販売数量他	生産コスト	エネルギー・ 部材費	人件費	構造改革効果	その他販管費	構造改革費用	その他 収益・費用	FY23 1Q 実績
デジタルワーク プレイス事業	△43	+4	+20	+13	* △1	+8	+4	△17	+19	△24	+28	+9	20
プロフェッショナル プリント事業	△1	+5	△4	-	+4	+0	+1	△4	-	+3	-	+4	9
ヘルスケア事業	△63	△2	-	-	+20	-	△0	△4	+4	+7	-	+5	△34
インダストリー事業	70	+3	-	-	△25	△4	△9	△3	-	△7	-	+1	27
コーポレート他	△73	△1	-	-	+1	-	-	△0	-	+7	-	+1	△66
合計	△110	+9	+17	+13	△2	+4	△4	△28	+23	△14	+28	+20	△44

\*デジタルワークプレイス事業の販売数量内訳：オフィス ハード+10、ノンハード△15、 DW-DX +5



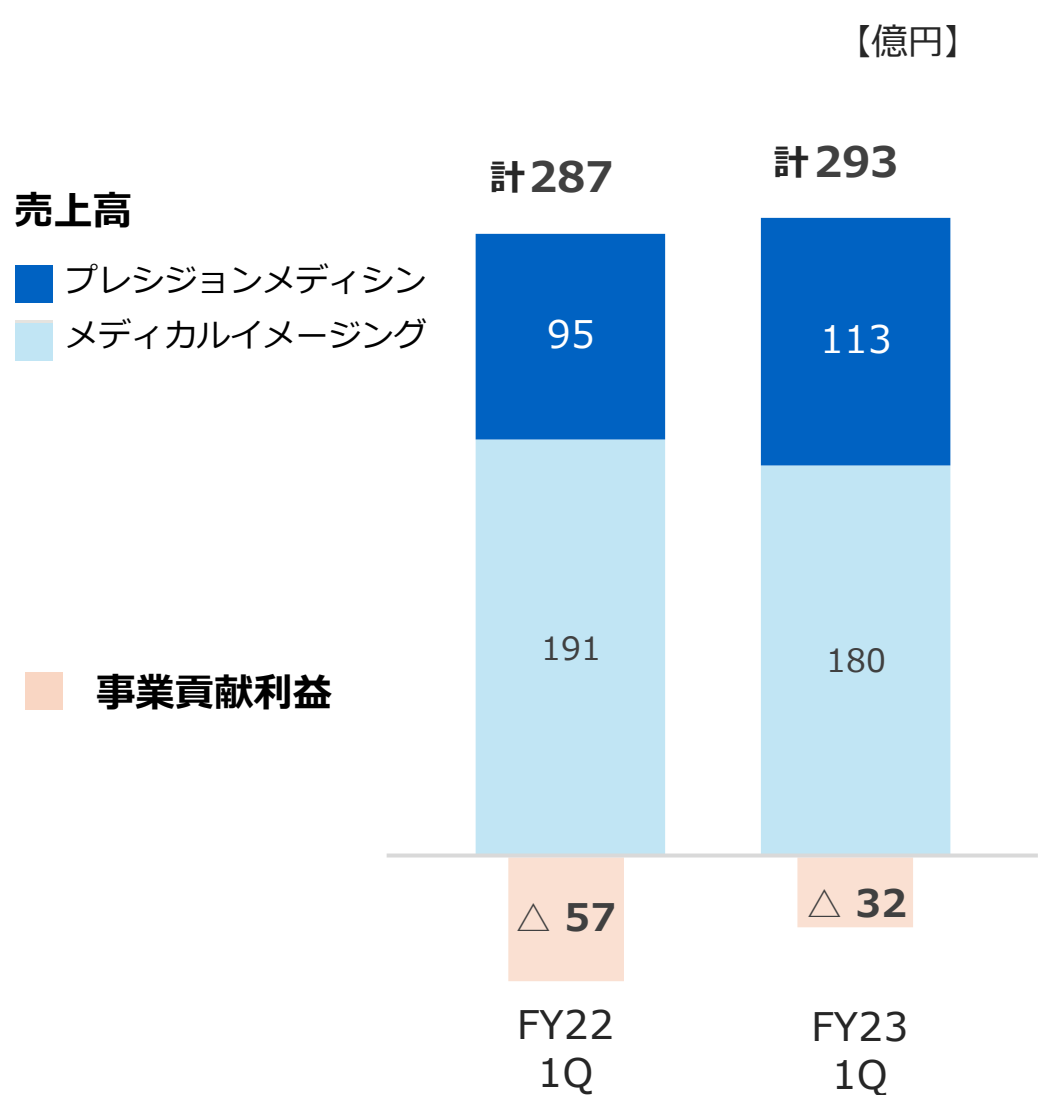
## 【売上高】

(対前年同期)

センシング	<ul style="list-style-type: none"> <li>光源色：ディスプレイ設備投資抑制の影響を受け、大手顧客を中心に売上が減少</li> <li>物体色：中国での受注がけん引し堅調を維持</li> <li>自動車の外観計測：好調を維持</li> </ul>
機能材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV（VA位相差）：底堅い需要を捉え、大型TV領域を含めて堅調に推移</li> <li>IT/スマホ（薄膜）：市況の影響による売上減少</li> </ul>
IJコンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイン：中国のコロナ影響からの回復と、展示会の活況による売上増加</li> <li>新規：ディスプレイ市場の新規開拓が進捗</li> </ul>
画像IoTソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視カメラソリューション：売上が増加</li> <li>車番自動認識ソリューション：売上が増加</li> </ul>

## 【事業貢献利益】

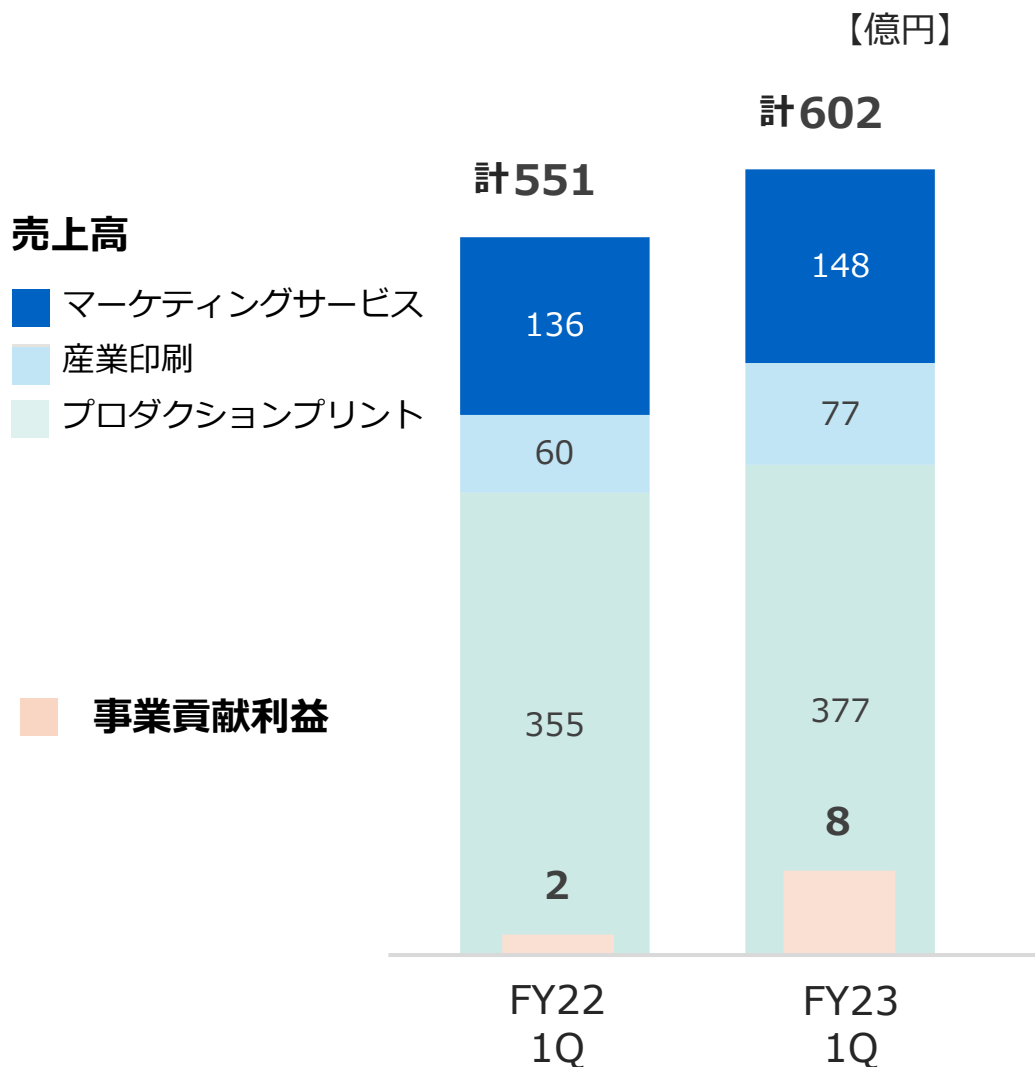
インダストリー事業全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>減益。IJコンポーネントは増益、センシング、機能材料は減益</li> </ul>
-------------	---



【売上高】 (対前年同期)

メディカルイメージング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• X線：日本の病院市場で減速するも診療所市場は好調、米国も病院市場は堅調</li> <li>• 動態解析：日本/米国 病院市場中心に順調に進捗</li> <li>• 超音波：日本の整形外科、産婦人科で伸長</li> </ul>
プレシジョンメディシン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遺伝子検査：受領サンプル数の増加によりAmbry 個社の黒字継続</li> <li>• 創薬支援：製薬会社治験の売上拡大</li> <li>• 国内事業：GenMineTOPパネル検査が保険適用、8月からサービス開始</li> </ul>
【事業貢献利益】	
ヘルスケア事業全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メディカルイメージング前年並み、プレシジョンメディシン赤字大幅改善</li> </ul>





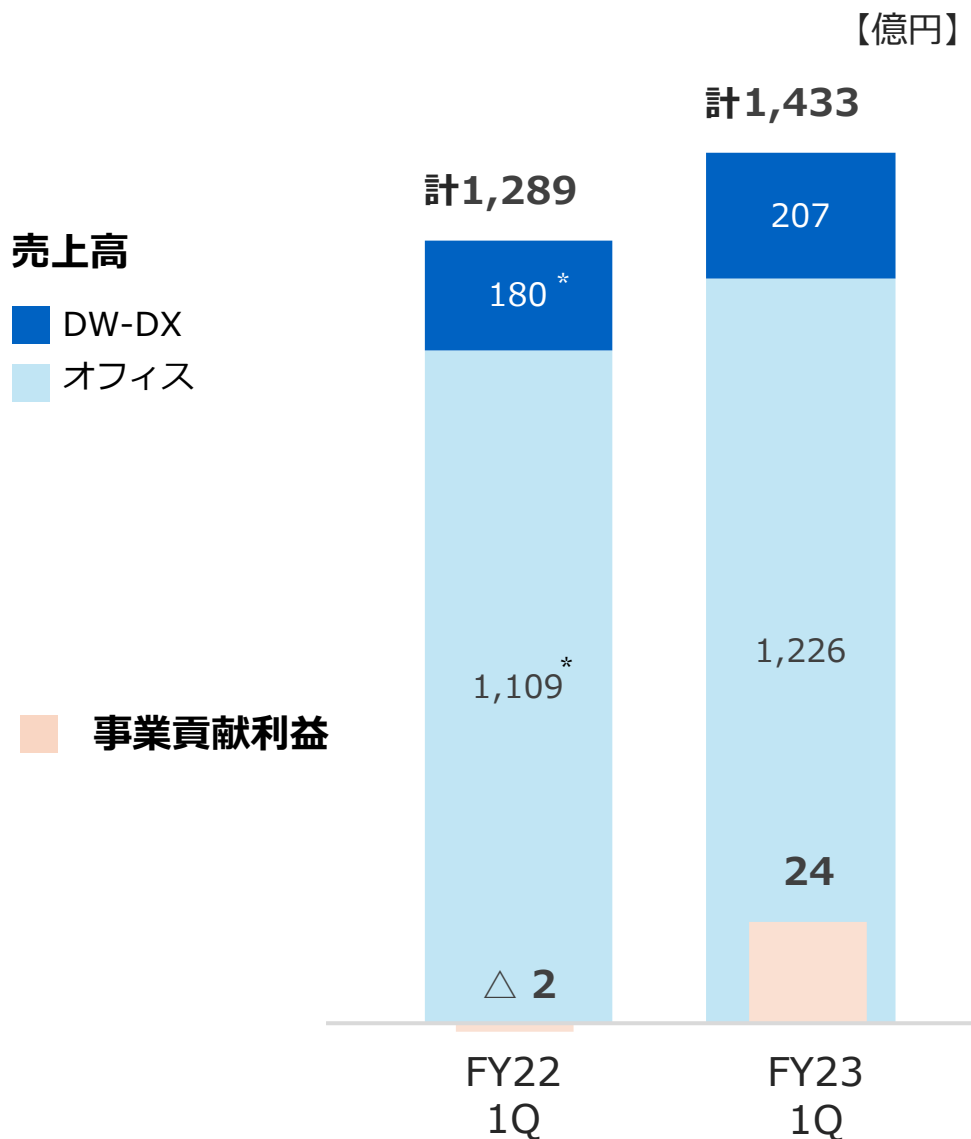
## 【売上高】

(対前年同期)

プロダクション プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード：△4% カラー機台数+6% (HPP+20%) モノクロ機台数△4%</li> <li>ノンハード：+5% 中国・インドで好調 (対FY19：1Q実績 100%、年間見通し 97%)</li> </ul>
産業印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード：全ての分野で台数増加</li> <li>ノンハード：QoQでの売上増加を継続</li> </ul>

## 【事業貢献利益】

プロフェッショ ナルプリント 事業全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ユニットでの売上高増加に伴う売上高総利益の増加により増益</li> </ul>
---------------------------	---



## 【売上高】

(対前年同期)

オフィス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード：+15% 需要が堅調に推移し台数増加 カラー機台数+11% モノクロ機台数+11%</li> <li>ノンハード：△4% 日米欧で減少、インドで増加 (対FY19：1Q実績 82%、年間見通し 82%)</li> </ul>
DW-DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務効率化サービス (IIM事業*) が好調</li> </ul>

## 【事業貢献利益】

デジタルワークプレイス事業全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ユニットでの売上高増加に伴う売上高総利益の増加と販管費抑制、オフィスの生産コスト抑制により増益</li> </ul>
-----------------	--

IIM事業\*：ビジネスコンテンツの管理や業務プロセス管理を提供する事業

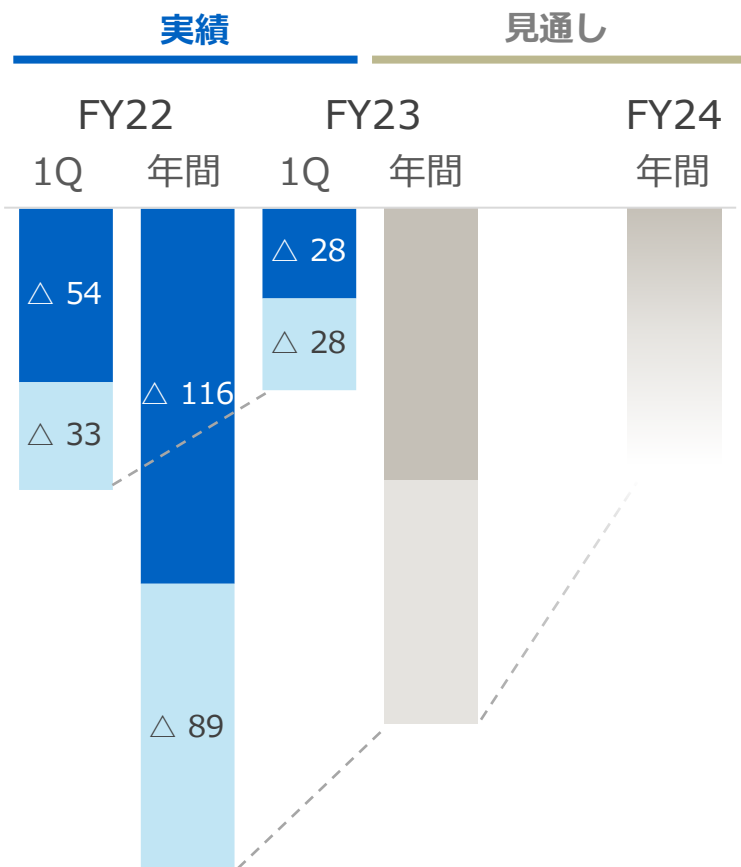
\*FY22の売上高は、MFPに付随するアプリケーション・サービスに関連する売上の組み換え含む。

## 中期経営計画の進捗



## 事業貢献利益 推移

【億円】



■ 非重点事業 ■ 方向転換事業

非重点事業：プレジジョンメディシンとマーケティングサービスの合算値

## 事業の選択と集中の進捗

### 非重点事業

#### プレジジョンメディシン

- (株) INCJよりプットオプションを行使する旨の通知を受領 (7/3)
- IPO準備に加え、第三者資本の活用具体策検討開始

### 方向転換事業

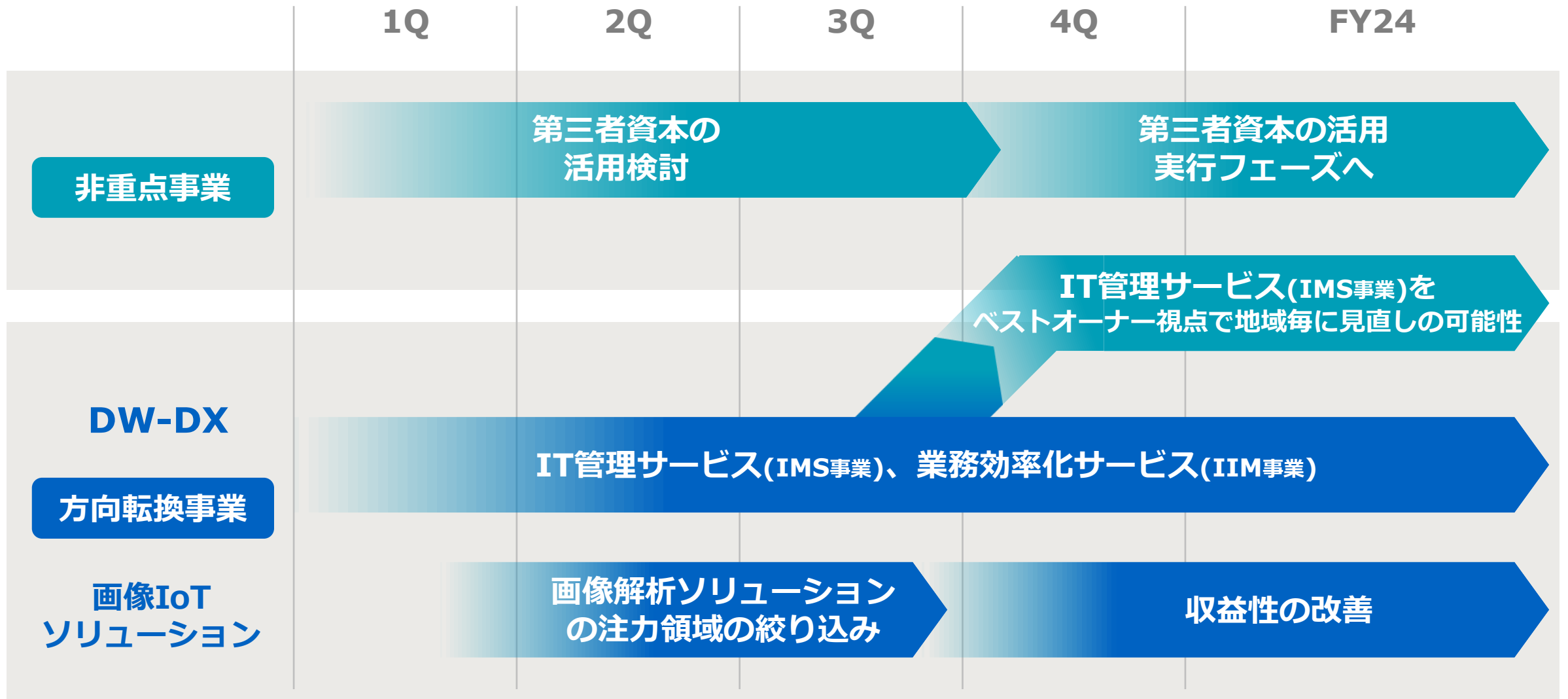
#### DW-DX

- オフィスユニットとのシナジーが限定的かつ開発リソースが限られているIT管理サービス (IMS事業)について、ベストオーナー視点も選択肢として地域毎に見直しをはかる

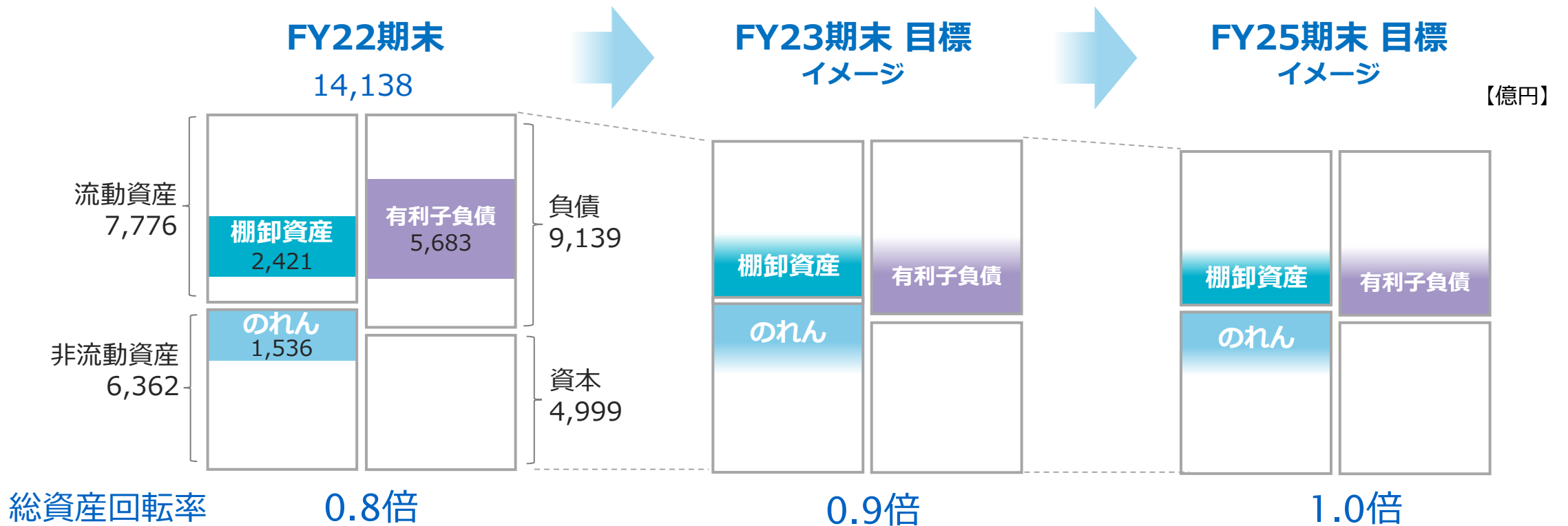
#### 画像IoTソリューション

- 画像解析ソリューションの注力領域を絞り込み、収益性を改善中 (欧州、米国のアウトドア/サーマル活用領域に注力)

IMS事業\*：セキュリティをはじめとしたITサービス、ITデバイス、ソフトウェアを顧客企業に提供する事業

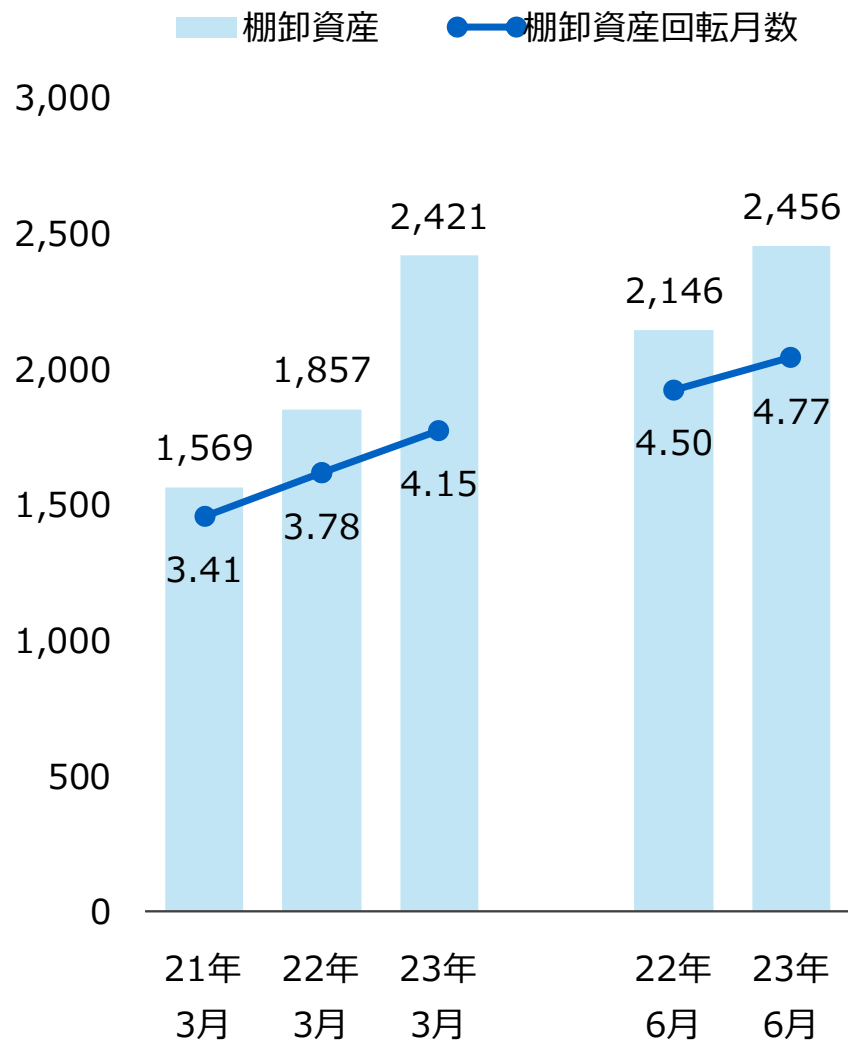


目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>FY25末に総資産回転率1.0倍</li> </ul>
FY23 1Q の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>総資産：設備投資・運転資本等の圧縮△349億円 (為替影響除くと△978億円)</li> <li>棚卸資産：+35億円 (為替影響除くと△72億円)</li> </ul>



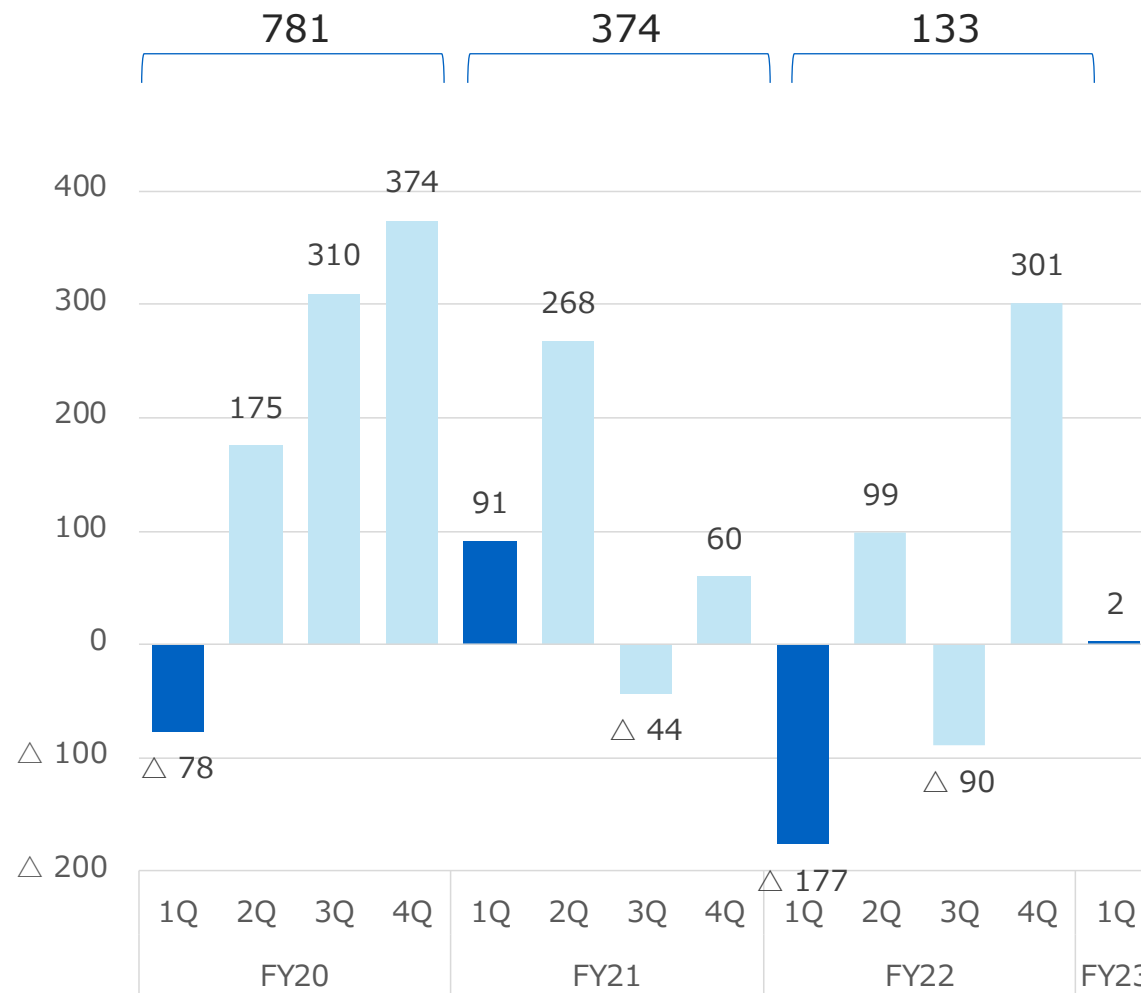


## 棚卸資産



## 営業キャッシュ・フロー

【億円】



# 2023年度 業績見通し | サマリー

- 業績見通しは期初の見通しを据置き 為替もドル・ユーロ前提の変更なし
- 営業利益はドルが悪化要因、ユーロと中国元が好転要因となるが、景気不透明感を考慮して据え置きとする

【億円】

	FY23 見通し	対前年				
		FY22 実績	差異	増減率	売上高	営業利益
売上高	11,400	11,304	+96	+ 1%		
事業貢献利益	240	297	△57	△ 19%		
営業利益	180	△ 951	+1,131	-		
親会社の所有者に帰属する						
当期利益	40	△ 1,032	+1,072	-		
設備投資額	520	438				
減価償却費及び償却費 *1	550	552				
研究開発費	680	639				
FCF	240	△ 242				
投融資	60	25				
					為替感応度 *2	
					売上高	営業利益
為替レート [円]						
USD	135.0	135.5	△ 0.5		+32	△ 3
EUR	140.0	141.0	△ 1.0		+18	+6
RMB	19.0	19.7	△ 0.7		+34	+10

\*1 IFRS16による使用权資産償却費は含まない

\*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# サステナビリティの 取り組み





# 「安全の日」を定め災害防止への取り組みを推進

- 2021年に発生した辰野工場における火災・爆発事故の反省と教訓を風化させず心にとどめ、災害防止への取り組みを推進するために、同事故発生日の7月6日を「安全の日」と決めました。
- 「安全の日」には、生産現場を役員が訪問し、現場従業員とコミュニケーションを取りながら、職場環境や災害リスク、安全の取り組みを確認することで、安全・安心な職場づくりを共に考える場を設けます。

## 今年は、役員24名が国内各製造拠点を視察



役員による視察  
(コニカミノルタサプライズ 辰野工場)



植樹式  
(コニカミノルタサプライズ 辰野工場)



役員と従業員とのコミュニケーション  
(コニカミノルタサプライズ 西神工場)

- 災害防止の重要施策であるリスクアセスメントを確実に実行するため、グループ安全衛生管理規程を抜本的に改訂、国内外の生産拠点で会社の枠を超えて情報共有を行うなど災害防止への取り組みを強化しております。

## 全ての海外複合機生産拠点で 再生可能エネルギー100%を達成

- マレーシアの複合機生産拠点で100%再エネを達成
- 中国の複合機生産拠点では既に再エネ100%を達成しており、マレーシア拠点の達成によって海外複合機生産拠点全てで100%再エネに
- 各拠点の太陽光発電システム導入などが達成に寄与



## 電子写真プロセス技術分野への 多大な貢献で2023年「Chester F. Carlson Award」受賞

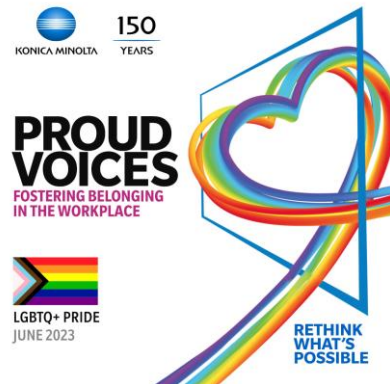
- 国際的な画像学会であるSociety for Imaging Science and Technology から、社員の峯岸 なつ子に授与
- 世界的に栄誉ある賞で、毎年、電子写真の科学または技術において優れた業績のあった者1名に与えられる

コニカミノルタ株式会社  
技術開発本部  
先進コア技術センター  
峯岸 なつ子（工学博士）



## ～プライド月間～ グローバルでDEIプログラムを実施

- 6月22日にグローバル・国内それぞれでDEIプログラムを実施
- 【グローバルプログラム】  
グループ社員5名が「ありのままの自分で働くこと」と「職場への帰属意識」について語り、22カ国のグループ社員と共有（オンライン開催）



## GPIFのESG指数である 全インデックスに7年連続で選定 「FTSE4Good Index Series」 にも20年連続で選定

- 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG指数として採用した6つの責任投資インデックスの全てに選定
- GPIFのESG指数採用当初から、7年連続で全インデックスに選定
- 「FTSE4Good Index Series」にも20年連続で採用

2023 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数



- 10月中旬 強化事業説明会（インダストリー領域）
- 12月中旬 Konica Minolta Day サステナビリティ説明会



**KONICA MINOLTA**

**150**

---

**YEARS**

## 2023年3月まで

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス(OP)</li> <li>■ DW-DX(DW-DX)</li> </ul>
-------------------	--

プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント(PP)</li> <li>■ 産業印刷(IP)</li> <li>■ マーケティングサービス(MS)</li> </ul>
---------------------	--

ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルスケア(HC)</li> <li>■ プレシジョンメディシン(APM)</li> </ul>
-------------	---

インダストリー 事業	センシング
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機能材料(PM)</li> <li>■ 光学コンポーネント(OC)</li> <li>■ IJコンポーネント(IJ)</li> </ul>
	画像IoTソリューション
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 画像IoTソリューション(IIS)</li> <li>■ 映像ソリューション(VS)</li> </ul>

コーポレート他、QOL

## 2023年4月から

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス(OP)</li> <li>■ DW-DX(DW-DX)</li> </ul>
-------------------	--

プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント(PP)</li> <li>■ 産業印刷(IP)</li> <li>■ マーケティングサービス(MS)</li> </ul>
---------------------	--

ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルスケア(HC)</li> <li>■ プレシジョンメディシン(APM)</li> </ul>
-------------	---

インダストリー 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料(PM)</li> <li>■ 光学コンポーネント(OC)</li> <li>■ IJコンポーネント(IJ)</li> <li>■ 画像IoTソリューション(IIS)</li> <li>■ 映像ソリューション(VS)</li> </ul>
---------------	---

コーポレート他、QOL

# APPENDIX

開示しておりました一部資料はウェブ上の開示に変更しました。以下よりダウンロードしてご確認ください。

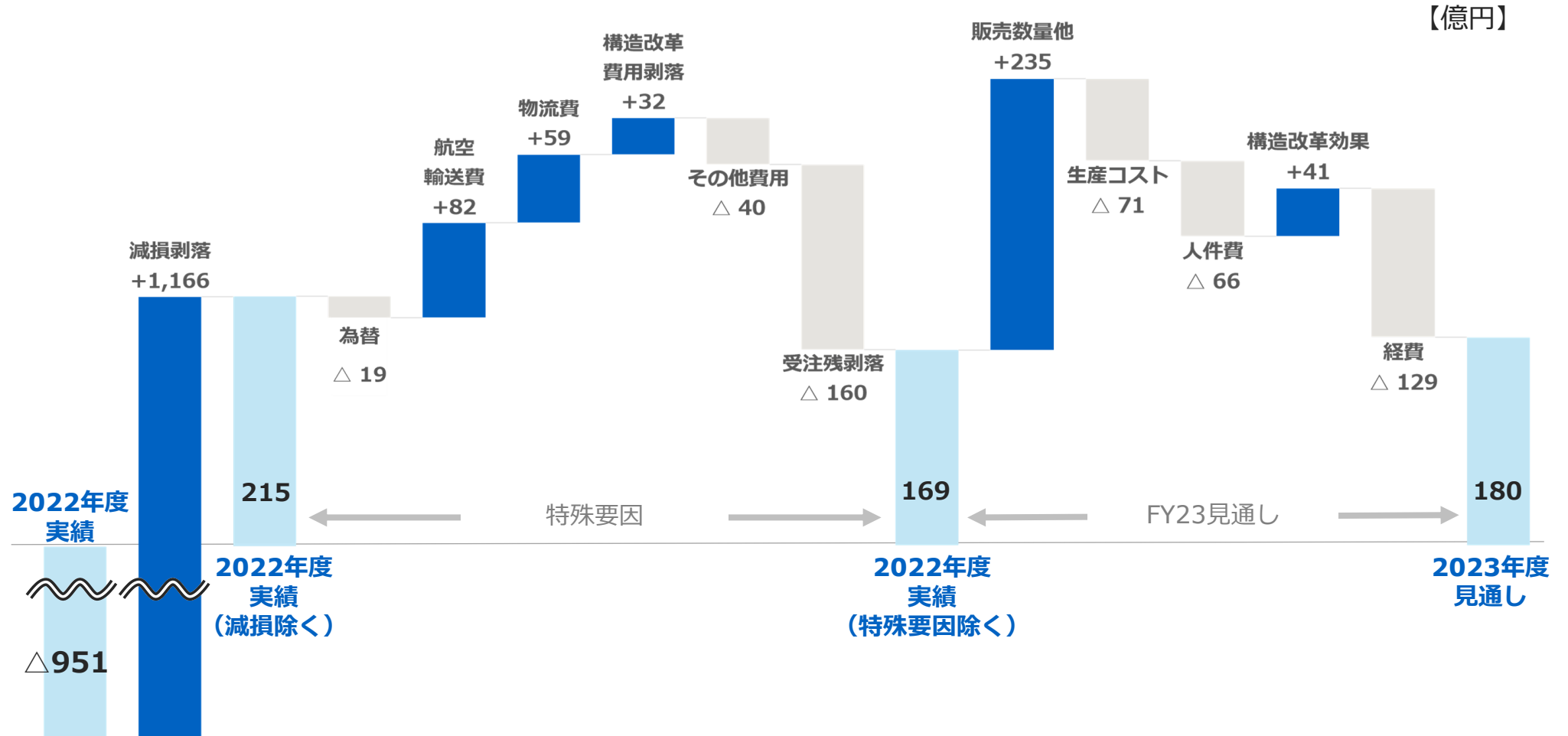
[https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir\\_library/fr/pdf/2024/2024\\_1q\\_presentation\\_supplementary.xlsx](https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2024/2024_1q_presentation_supplementary.xlsx)



# 2023年度 業績見通し | 営業利益の増減要因 (再掲)

## 【ポイント】

- FY22特殊要因：航空輸送費、物流費、構造改革費剥落、生産影響含む受注残剥落
- FY23見通し：数量増、価格対応、コスト増



# 2023年度 業績見通し | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益



KONICA MINOLTA

150  
YEARS

【億円】

売上高	FY23 見通し	対前年		
		FY22 実績	差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	5,900	6,003	△103	△ 2%
プロフェッショナルプリント事業	2,550	2,526	+24	+ 1%
ヘルスケア事業	1,400	1,378	+22	+ 2%
インダストリー事業 *1	1,540	1,375	+165	+ 12%
コーポレート他	10	21	△11	△ 53%
全社合計	11,400	11,304	+96	+1%

事業貢献利益	FY23 見通し	率	対前年（本社費用配賦調整後）			
			FY22 実績	差異	増減率	
デジタルワークプレイス事業	200	3%	307	5%	△107	△ 35%
プロフェッショナルプリント事業	115	5%	151	6%	△36	△ 24%
ヘルスケア事業	△ 35	-	△ 70	-	+35	-
インダストリー事業 *1	220	14%	217	16%	+3	+ 1%
コーポレート他	△ 260	-	△ 307	-	+47	-
全社合計	240	2%	297	3%	△57	△ 19%

営業利益	FY23 見通し	率	対前年（本社費用配賦調整後）			
			FY22 実績（減損除く）	差異	増減率	
デジタルワークプレイス事業	170	3%	244	4%	△74	△ 30%
プロフェッショナルプリント事業	110	4%	144	6%	△34	△ 24%
ヘルスケア事業	△ 40	-	△ 80	-	+40	-
インダストリー事業 *1	210	14%	216	16%	△6	△ 3%
コーポレート他	△ 270	-	△ 309	-	+39	-
全社合計	180	2%	215	2%	△35	△ 16%

\*1 FORXAIの売上高・事業貢献利益・営業利益は、FY22はインダストリー事業、FY23はコーポレート他に含む。本資料ではFY22もコーポレート他に組み替えて表記。



【億円】

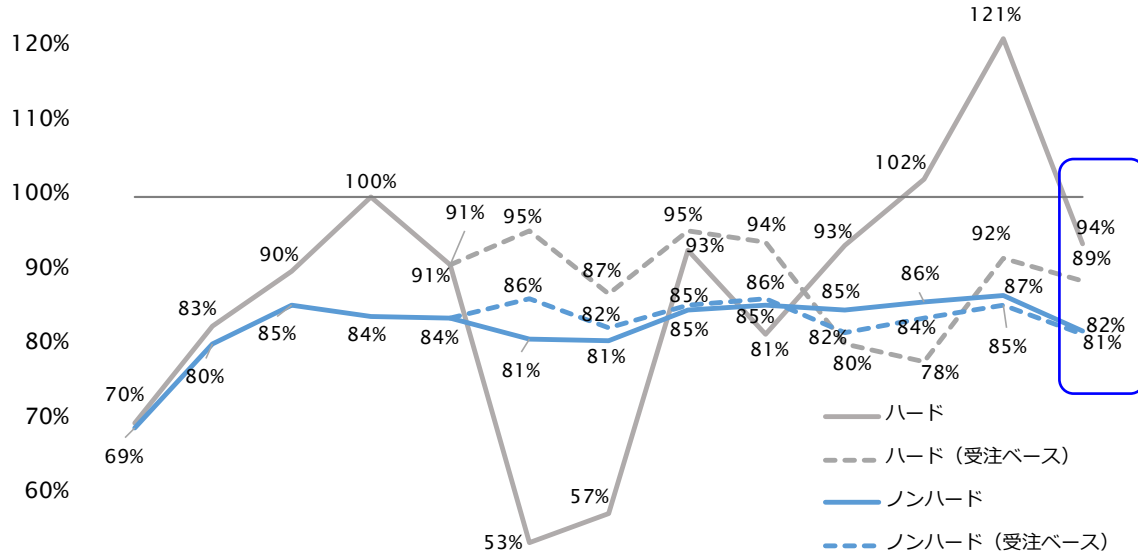
前年同期比 (FY23/1Q vs FY22/1Q)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
<b>【営業利益】</b>						
為替	+4	+5	△ 2	+3	△ 1	+9
販売数量他	+22	+6	+19	△ 40	+1	+7
値上げ	+11	+3	+0	+3	+0	+17
その他販管費	△ 12	△ 8	+7	△ 9	+6	△ 16
その他収益費用	+37	+4	+5	+1	+1	+48
合計	+62	+10	+29	△ 42	+7	+66

# 2023年度 業績 | ハード・ノンハード売上 対FY19

受注残は通常の水準まで解消

(2019年度を100%とした場合)

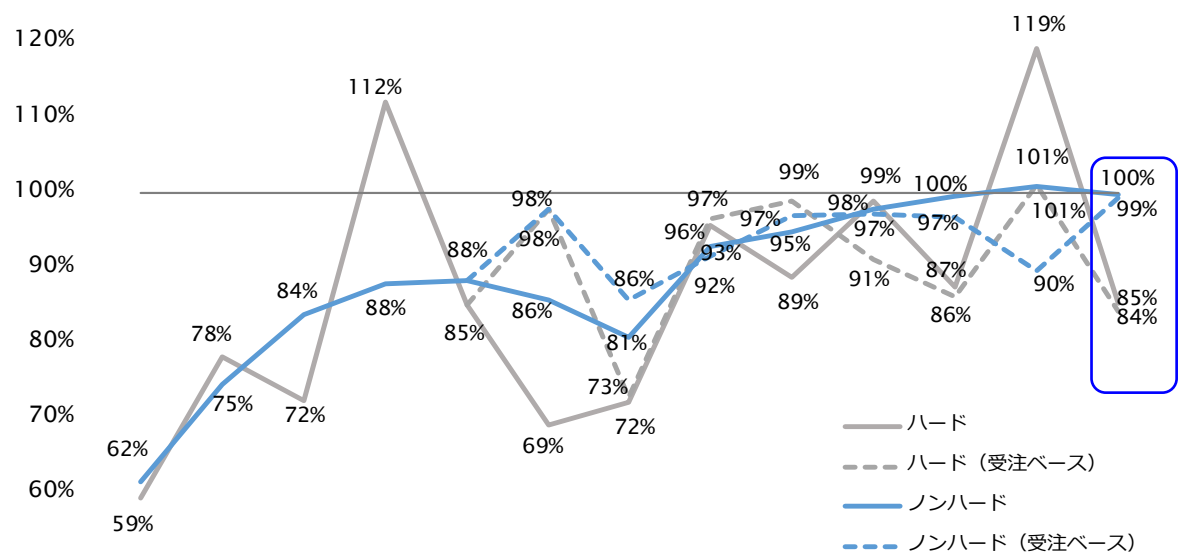
## オフィス



	FY20				FY21				FY22				FY23
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ハード	70%	83%	90%	100%	91%	95%	87%	95%	93%	102%	121%	92%	94%
ハード (受注ベース)	69%	80%	85%	84%	84%	81%	82%	85%	85%	81%	80%	78%	81%
ノンハード	80%	85%	84%	84%	86%	81%	81%	85%	85%	86%	87%	85%	82%
ノンハード (受注ベース)	80%	85%	84%	84%	86%	81%	81%	85%	85%	86%	87%	85%	81%

日本	85%	90%	94%	92%	92%	87%	91%	89%	89%	87%	89%	89%	88%
米国	62%	73%	78%	81%	77%	75%	74%	82%	77%	80%	81%	82%	71%
欧州	66%	82%	83%	78%	83%	82%	77%	82%	87%	82%	78%	87%	82%
中国	107%	105%	115%	140%	109%	111%	75%	110%	114%	107%	104%	127%	108%
インド	52%	68%	98%	113%	73%	103%	127%	108%	143%	128%	159%	144%	180%
合計	69%	80%	85%	84%	84%	81%	81%	85%	85%	85%	86%	87%	82%

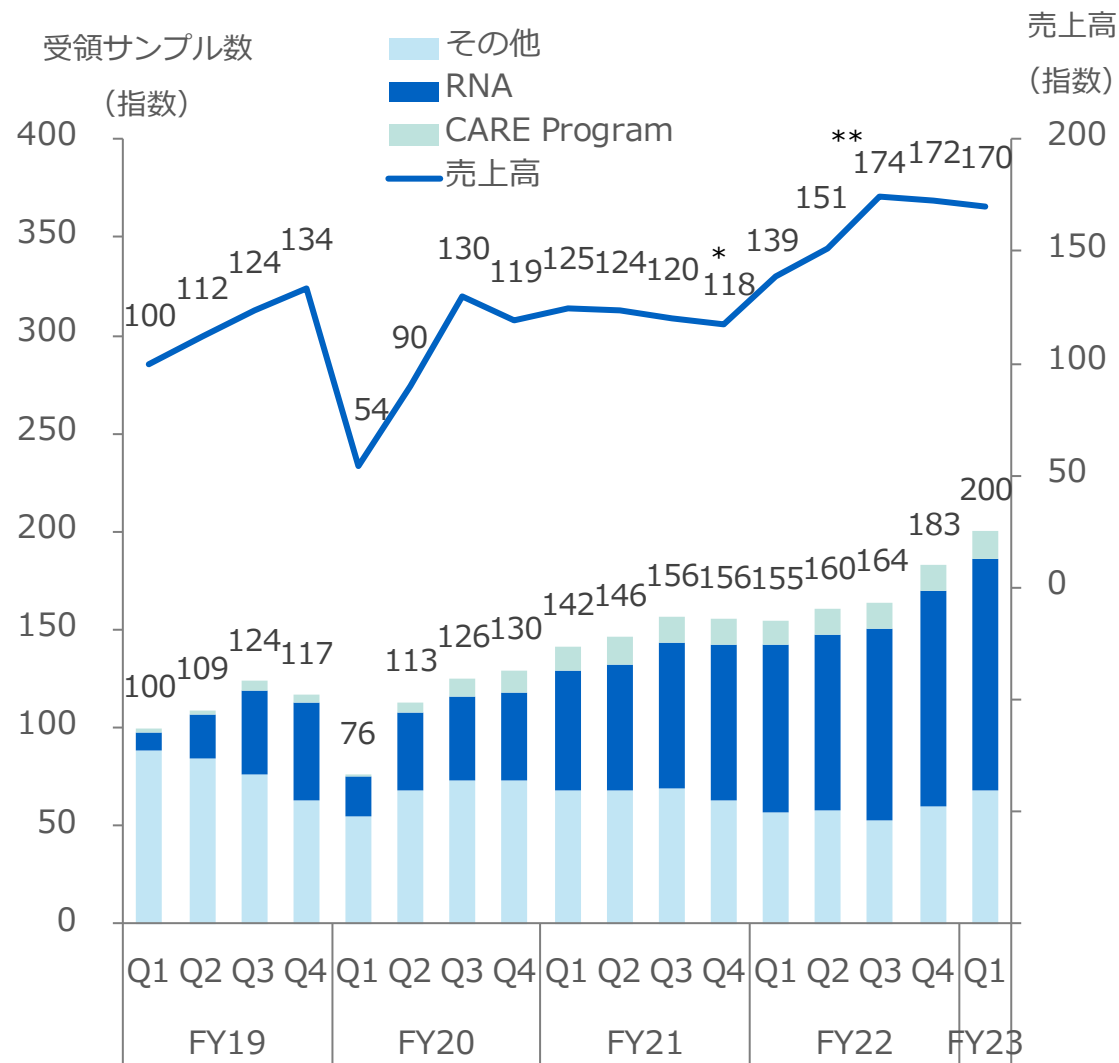
## プロダクションプリント



	FY20				FY21				FY22				FY23
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ハード	59%	78%	72%	112%	88%	69%	72%	96%	97%	119%	101%	101%	85%
ハード (受注ベース)	62%	75%	72%	88%	85%	88%	86%	93%	92%	95%	97%	98%	84%
ノンハード	62%	84%	88%	88%	86%	81%	81%	93%	93%	97%	97%	97%	99%
ノンハード (受注ベース)	62%	84%	88%	88%	86%	81%	81%	93%	93%	97%	97%	97%	99%

日本	76%	82%	88%	87%	81%	76%	66%	78%	75%	72%	77%	80%	76%
米国	52%	67%	77%	82%	76%	75%	76%	90%	81%	83%	86%	82%	75%
欧州	64%	77%	79%	78%	88%	94%	77%	86%	98%	105%	96%	97%	95%
中国	113%	117%	140%	138%	176%	138%	98%	127%	120%	143%	144%	196%	204%
インド	34%	71%	105%	113%	83%	107%	121%	114%	136%	127%	152%	140%	180%
合計	62%	75%	84%	88%	88%	86%	81%	93%	95%	98%	100%	101%	100%

### Ambry社 売上高および受領サンプル数推移

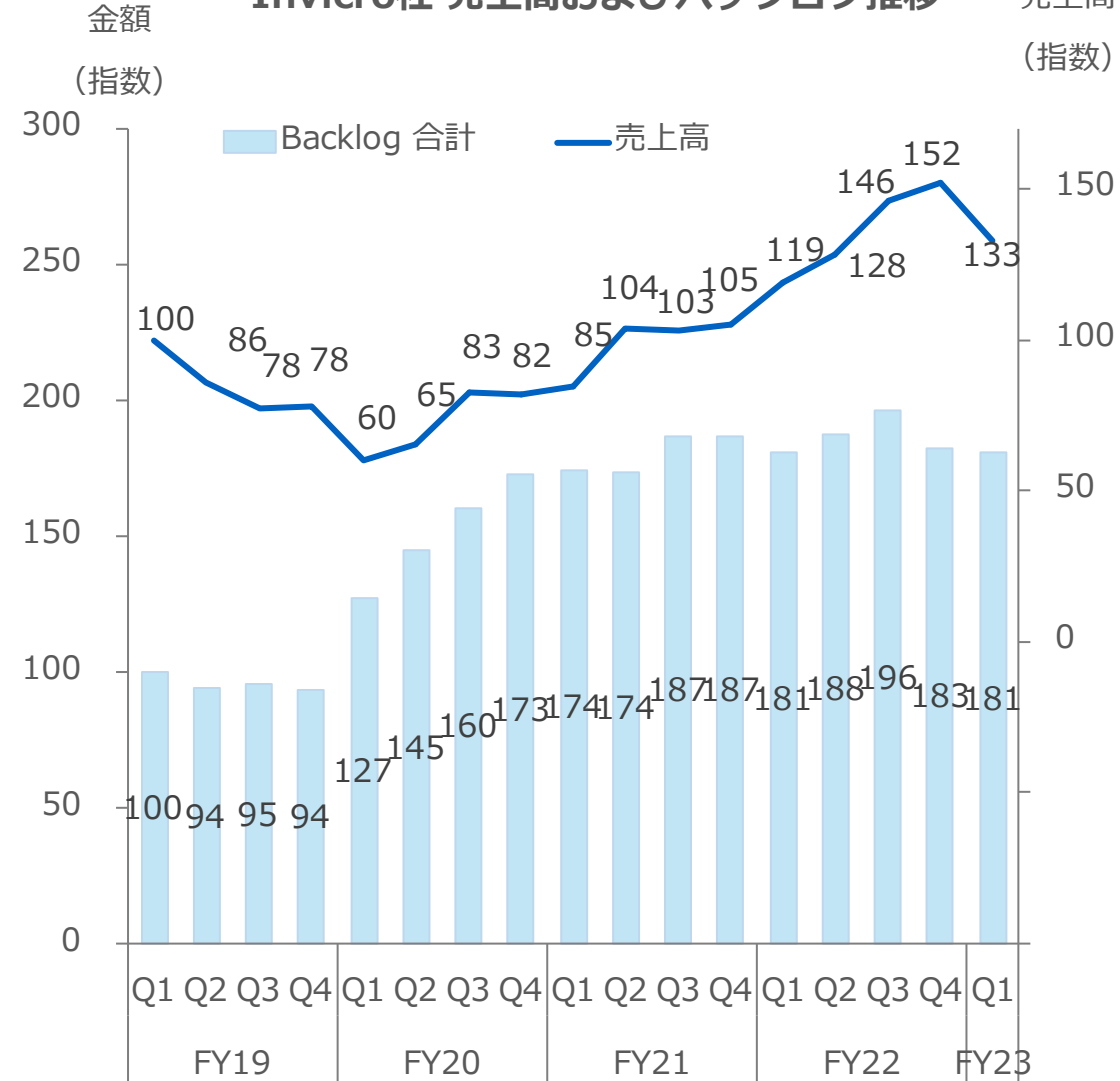


\* 売掛金/売上高減額前  
\*\* 売掛金/売上高修正を反映

FY19 1Qを100とした時の指数/売上高は円貨ベース

### バックログ

### Invicro社 売上高およびバックログ推移



【億円】

	FY23 1Q	対前年	
		FY22 1Q	前期比
売上高	2,664	2,478	+7%
売上総利益	1,119	1,048	+7%
（売上総利益率）	42.0%	42.3%	△ 0.3pt
販売管理費	1,160	1,107	+5%
事業貢献利益	△ 41	△ 59	-
その他収益・費用	△ 3	△ 51	-
営業利益	△ 44	△ 110	-
（営業利益率）	-	-	-
金融収支	△ 13	35	-
税引前利益	△ 58	△ 76	-
（税引前利益率）	-	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 56	△ 87	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	-	-
EPS（円）	△ 11.27	△ 17.69	
設備投資額	78	84	
減価償却費及び償却費 *	134	138	
研究開発費	161	153	
FCF	△ 108	△ 249	
投融資	-	9	
為替レート [円] USD	137.37	129.57	+7.80
EUR	149.47	138.12	+11.35

\*IFRS16による使用权資産償却費は含まない

# 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

【億円】

	FY23 1Q	対前年	
		FY22 1Q	前期比
<b>販売管理費</b>			
販売変動費	110	127	△17
研究開発費	161	153	+8
人件費	568	522	+46
その他	320	304	+16
販売管理費 計	1,160	1,107	+53
*為替影響額：	44億円（除く為替 9億円）		
<b>その他の収益</b>			
保険金収入	0	10	△9
その他収益	14	8	+6
その他の収益 計	15	18	△3
<b>その他の費用</b>			
事業構造改善費用	6	35	△29
訴訟和解金	-	16	△16
その他費用	12	17	△6
その他の費用 計	18	68	△51
<b>金融収支</b>			
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 24	△ 10	△14
為替差損益	15	42	△27
その他	△ 4	2	△6
金融収支 計	△ 13	35	△47

【億円】

	FY21 1Q	FY22 1Q	FY23 1Q
税引前四半期利益（△は損失）	25	△ 76	△ 58
減価償却費及び償却費	190	188	186
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	147	104	245
棚卸資産の増減（△は増加）	53	△ 164	94
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△ 147	△ 32	△ 313
その他	△ 178	△ 197	△ 152
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>91</b>	<b>△ 177</b>	<b>2</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 93	△ 49	△ 52
無形資産の取得による支出	△ 44	△ 46	△ 43
子会社株式の取得による支出	0	△ 2	△ 10
その他	18	25	△ 5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 119</b>	<b>△ 72</b>	<b>△ 111</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 28</b>	<b>△ 249</b>	<b>△ 108</b>



【億円】

	22年3月	23年3月	23年6月
現金及び現金同等物	1,177	1,806	1,098
営業債権及びその他の債権	2,802	3,135	3,147
棚卸資産	1,857	2,421	2,456
その他の流動資産	353	414	485
<b>流動資産合計</b>	<b>6,189</b>	<b>7,776</b>	<b>7,188</b>
有形固定資産	2,877	2,891	2,952
のれん及び無形資産	3,541	2,589	2,728
その他の非流動資産	774	882	920
<b>非流動資産合計</b>	<b>7,193</b>	<b>6,362</b>	<b>6,601</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,381</b>	<b>14,138</b>	<b>13,788</b>

	22年3月	23年3月	23年6月
営業債務及びその他の債務	1,821	2,005	1,808
社債及び借入金	3,543	4,691	4,145
リース負債	943	992	1,043
その他の負債	1,459	1,451	1,595
<b>負債合計</b>	<b>7,766</b>	<b>9,139</b>	<b>8,591</b>
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,498	4,874	5,069
非支配持分	117	125	128
<b>資本合計</b>	<b>5,615</b>	<b>4,999</b>	<b>5,197</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>13,381</b>	<b>14,138</b>	<b>13,788</b>

	22年3月	23年3月	23年6月
自己資本比率(%)	41.1	34.5	36.8
格付け評価用自己資本比率(%)	44.8	37.9	40.3
D/Eレシオ	0.82	1.17	1.02

# 主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】  
【影響額、感応度：億円】

	FY22	FY23	対前年影響額		為替感応度*2	
	1Q	1Q	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	129.57	137.37	+59	△ 5	+32	△ 3
ユーロ	138.12	149.47	+44	+13	+18	+6
ポンド	162.96	171.91	+6	+0	+3	+1
欧州通貨*1	-	-	+55	+13	+26	+9
人民元	19.58	19.56	△ 0	+2	+34	+10
その他	-	-	+4	△ 0	-	-
予約影響額	-	-	-	+0	-	-
合計	-	-	+118	+9	-	-

\*1欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む  
\*2為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# 2023年度 1Q業績 | 事業セグメント別実績 (対前年)

【億円】

売上高	FY23 1Q	対前年		
		FY22 1Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,289	+ 11%	+ 5%
プロフェッショナルプリント事業	602	551	+ 9%	+ 5%
ヘルスケア事業	293	287	+ 2%	△ 1%
インダストリー事業 *1	332	349	△ 5%	△ 8%
コーポレート他	4	3	+ 34%	+ 34%
全社合計	2,664	2,478	+ 7%	+ 3%

事業貢献利益	FY23 1Q	率	対前年			対前年 (本社費等配賦調整後)		
			FY22 1Q	前期比	為替影響を除く	FY22 1Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	24	2%	△ 35	-	-	△ 2	-	-
プロフェッショナルプリント事業	8	1%	12	△ 33%	△ 77%	2	+ 304%	+ 41%
ヘルスケア事業	△ 32	-	△ 59	-	-	△ 57	-	-
インダストリー事業 *1	26	8%	62	△ 59%	△ 63%	70	△ 63%	△ 67%
コーポレート他	△ 66	-	△ 40	-	-	△ 72	-	-
全社合計	△ 41	-	△ 59	-	-	△ 59	-	-

営業利益	FY23 1Q	率	対前年			対前年 (本社費等配賦調整後)		
			FY22 1Q	前期比	為替影響を除く	FY22 1Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	20	1%	△ 76	-	-	△ 43	-	-
プロフェッショナルプリント事業	9	2%	9	+ 1%	△ 55%	△ 1	-	-
ヘルスケア事業	△ 34	-	△ 65	-	-	△ 63	-	-
インダストリー事業 *1	27	8%	62	△ 57%	△ 62%	70	△ 62%	△ 66%
コーポレート他	△ 66	-	△ 41	-	-	△ 73	-	-
全社合計	△ 44	-	△ 110	-	-	△ 110	-	-

\*1 FORXAIの売上高・事業貢献利益・営業利益は、FY22はインダストリー事業、FY23はコーポレート他に含む。本資料ではFY22もコーポレート他に組み替えて表記。

# セグメント別四半期推移

【億円】

【売上高】	FY22					FY23
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
デジタルワークプレイス事業	1,289	1,496	1,587	1,631	6,003	1,433
オフィス *	1,109	1,290	1,377	1,416	5,191	1,226
DW-DX *	180	206	209	216	811	207
プロフェッショナルプリント事業	551	648	651	677	2,526	602
プロダクションプリント	355	417	429	419	1,619	377
産業印刷	60	82	72	110	323	77
マーケティングサービス	136	149	151	148	584	148
ヘルスケア事業	287	353	329	409	1,378	293
ヘルスケア	191	250	213	291	946	180
プレジジョンメディシン	95	103	116	118	433	113
インダストリー事業	349	325	331	366	1,371	332
センシング	135	114	113	108	469	91
機能材料	113	80	83	116	392	114
IJコンポーネント	37	42	47	45	171	45
光学コンポーネント	36	54	54	53	198	47
画像IoTソリューション	20	25	26	27	98	27
映像ソリューション	8	9	9	18	43	8
コーポレート他	3	7	5	10	26	4
全社合計	2,478	2,829	2,903	3,094	11,304	2,664

\*FY22の売上高は、MFPに付随するアプリケーション・サービスに関連する売上の組み換え含む。

【億円】

【事業貢献利益】	FY22					FY23
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
デジタルワークプレイス事業	△ 2	74	94	140	307	24
プロフェッショナルプリント事業	2	36	55	57	151	8
ヘルスケア事業	△ 57	△ 21	△ 4	11	△ 70	△ 32
インダストリー事業	70	52	41	55	217	26
コーポレート他	△ 72	△ 76	△ 84	△ 75	△ 307	△ 66
全社合計	△ 59	67	102	188	297	△ 41

【営業利益】	FY22					FY23
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
デジタルワークプレイス事業	△ 43	70	80	108	215	20
プロフェッショナルプリント事業	△ 1	36	54	47	136	9
ヘルスケア事業	△ 63	△ 23	△ 4	△ 1,025	△ 1,115	△ 34
インダストリー事業	70	52	40	△ 26	135	27
コーポレート他	△ 73	△ 76	△ 84	△ 88	△ 321	△ 66
全社合計	△ 110	59	85	△ 985	△ 951	△ 44

- ・複合機（MFP: Multi Functional Peripheral）スピードセグメント：デジタルワークプレイス事業  
Seg.1 ～20枚機、Seg.2 21-30枚機、Seg.3 31-40枚機、Seg.4 41-69枚機、Seg.5 70～枚機（A4縦、分速）
- ・カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業  
ELPP（Entry Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯製品  
LPP（Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け製品  
MPP（Mid Production Print）月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け製品  
HPP（Heavy Production Print）月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け製品
- ・RNA（リボ核酸）検査：ヘルスケア事業  
DNA（デオキシリボ核酸）の一次転写物であるメッセンジャーRNA（mRNA）構造の変化を捉える検査。  
従来のDNAでの検査では臨床的な“意義不明”となっていたDNA変異に対して、転写産物のmRNAを解析することで、より精度の高い検査結果を提供することができる。
- ・CARE Program（Comprehensive Assessment, Risk & Education）：ヘルスケア事業  
遺伝性乳がんハイリスク群の効果的な拾い上げと遺伝子診断に関わるトータルサポートを行うプログラム。
- ・GenMineTOP がんゲノムプロファイリング検査：ヘルスケア事業  
東京大学、国立がん研究センターとの共同研究による、腫瘍組織の遺伝子解析。  
DNAだけでなくRNAも解析する、腫瘍組織だけでなく非腫瘍細胞のDNAも解析するという特徴がある。
- ・FORXAI：画像IoTソリューション事業  
お客様・パートナーと共に、社会のDXを加速させる画像IoTのプラットフォーム。





**KONICA MINOLTA**

**150**

**YEARS**

- **本資料の記載情報**

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- **将来見通しに係わる記述についての注意事項**

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。